

五〇年前の

「かがり火獅子舞」の再現

——皆野 椋神社——

夕やみがせまる頃、皆野椋神社境内にかがり火が焚かれ、そのまわりを囲むように12頭の獅子、4人の仲立が円陣を組み、踊り出しました。

10月8日、椋神社秋の大祭の日「かがり火獅子舞」が再現されました。演じたのは「皆野民俗芸能奏楽研究会」のみなさんです。



椋神社の舞



国神社の獅子舞

椋神社に伝わる多くの獅子舞の演目があります。徐々にいろいろなことをやってきた中で、「かがり火獅子舞」を50年ぶりに演じることになったそうです。

昼間には。ことし4月から練習を重ねてきた小学生6名による獅子舞も披露されました。

14日は、上日野沢の門平にある日野沢大神社奥社の大祭です。

秩父地方で一番古い神社です。ここでも獅子舞が地元の人達により守られ、演じられています。

悩みは「担い手不足」この日は、東京で働いている娘さん二人が休暇をとって獅子舞に参加していました。小さい頃からやっていたので、すぐに身体が動きます。

「練習場がない」そうした悩みも聞かれています。

それぞれの地域に、古くから伝わる伝統芸能をどう守っていくか、町全体の課題として考えていく必要があると思います。



門平の獅子舞

若い人も高齢者も

安心できる年金を

10・14年金一揆

いま、国民の財産である年金積立金が株に投資され10兆円近い損失が出ています。だれも責任をとっていません。

年金者組合秩父支部は、バスを仕立て東京日比谷の「一揆」集会に参加しました。

今の臨時国会に、物価が上がっても現役世代の賃金が下がれば、年金額を切り下げるといふ、法案が提出されています。

年金積立金の一部を取りくずせば、保険料を納めている現役の労働者も保険料の半分を負担している中小零細業者も助かります。年金積立金を国民の為に使うことが求められています。



日比谷野外音楽堂の集会